

# HAMAYOU

芦屋町ボランティア活動センター通信 117号

発行者 芦屋町ボランティア活動センター「りーど」  
発行所 遠賀郡芦屋町中ノ浜 11-6 町民会館2階  
TEL 093-221-1011  
発行日 令和元年12月1日

## キッズにゆゑす

## りーどぼらんていあキッズ朝倉研修報告

りーどぼらんていあキッズは、平成24年度の設立当初から、災害復興支援活動を行っています。平成25年度には九州北部豪雨の被災地、八女市で作業支援活動を行いました。その後は、熊本地震の被災地や、平成29年度の九州北部豪雨の被災地、朝倉市から農作物を仕入れて、販売支援を行ってきました。

そこで今回、11月16日に朝倉市の復興状況見学と、果樹園で農業支援を行う研修を実施しました。

参加者は、現在活動を行っているキッズ5名と初参加の小学生4名に加え、りーどぼらんていあキッズ1期のメンバー(大学生)3名も参加しました。

今回のメインは、朝倉市杷木松末地域での研修でした。平成29年7月の豪雨で、この地域は、24時間の降水量が500mmを超え、河川が氾濫し、濁流が家屋を崩壊しました。亡くなった方19名と不明者1名、その大半が自宅被害に遭遇したそうです。

松末地域コミュニティ協議会の協力で、工事中で普段は入ることのできない、被害が大きかった乙石川地域を見学させていただきました。さらに、被災した松末小学校で当時の映像を見ながら、お話を聞かせていただきました。研修会場の体育館はすごく寒かったけれど、キッズは静かに話に聞き入っていました。



研修日程 令和元年11月16日(土)  
研修ルート  
芦屋町出発(8:00)→道の駅うすい→小石原→  
① 杷木松末地域(10:30) →  
② 三連水車の里 あさくら(12:30)→  
③ 信ちゃん果樹園(13:45)→出発(15:00)→  
芦屋町帰着(17:15)

### 芦屋町



### 小石原(東峰村)から杷木地区へ

このルートは、現在でも被害の様子が確認できます。河川の土手には黒い土のうが未だに積まれていますし、その河川両側は荒れ地のままです。山の斜面が崩れて、木がなくなっているところもありました。

### 小石原

### ① 杷木松末地域

杷木松末地域は、平成29年度の豪雨で大きな水害にあいました。避難所だったはずの松末小学校も、校舎の1階部分は浸水、体育館は2m近く土砂に埋まりました。その時の様子を松末地域コミュニティ協議会の方に、当時の映像を見ながら教えていただきました。

### ③ 信ちゃん果樹園

農作業支援として柿の収穫と出荷をしました。この地域は、果樹園には被害が少なかったものの、近くの河川が氾濫し、河川工事は未だに完了していませんでした。



### ② 三連水車の里 あさくら

昼食と休憩を行いました。りーどぼらんていあキッズは、復興販売支援のために、「三連水車の里 あさくら」から、農産物を仕入れて販売しています。きれいになった公園で遊びました。

## キッズ初期メンバーの活躍

今回の研修には、リーどぼらんていあキッズ第1期のメンバーで、大学生になった3名が参加しました。彼らは、平成25年度の八女市研修や復興支援の作業ボランティアに参加した経験があります。彼らに今回の研修のコーディネートをお願いしました。

○大学1年女子には、今回の研修先を探すところからお願いしました。彼女は北九州市立大学の学生で、学内の地域共生教育センターのラボに所属しています。彼女からセンターの先生に橋渡ししてもらい、今回の研修先である松末地域コミュニティ協議会を紹介していただきました。

そして、研修のバスの中での防災クイズを実施、○×回答だけでなく、その理由も聞いていました。

○平成25年度の研修の様子や成果を、大学2年男子に報告してもらいました。彼は、2代目のキッズ代表でしたので、キッズの活動についても話してもらいました。○大学3年男子には、今回の研修の概要などを伝えていました。すると当日、九州北部豪雨に関する資料を作ってきてくれました。小学生にもわかりやすいように漢字に振り仮名も付けた資料で、バスの中でくわしく解説もしてくれました。

彼らは、小学生キッズに気を配り、引率者の役割も十分に果たしてくれました。

## 朝倉研修で勉強すること

1. ボランティア活動ってなんだろう
2. 災害(水害)について考えてみよう
3. 松末小学校の災害を見ての感想
4. 果樹園での農作業支援

災害については、被災地を見て一番気になった場所はどこかと問うと小学3年生男子が、「松末小学校の中。自分の背の高さまで泥が来ていたところ」と答えました。

水害が起こったとき何をすればいいのかの質問には「避難」と即座に答えが返ってきました。次に「自分が避難するところがわかったら、おじいさんおばあさんを助ける」という返答もありました。本当にこれが実践できるようになってもらいたいと思います。

農作業支援での柿の収穫は、最初に枝を切らないようにと注意されたのに、一人が切ってしまう、次からみんなが気を付けるようになりました。

収穫後は、箱詰め作業を行いました。果樹園の方から「たくさん収穫してもらって助かりました」と感謝の言葉をいただきました。



最後に全員に今日の感想を聞きました。災害についての感想が多く、「災害のこどがどれだけ怖いかを知った」、「家の中にいても怖い思いをすることがあった」、「災害にあつたことはないけれど、気を付けたいと思った」、「災害の前と後を見て、災

害の怖さが改めてわかったし、自分も何か準備をしようと思った」、「災害を知っている人が再び災害にあうこともある。(知っているがゆえに油断して家族を亡くす人もいて怖いと思った)」などがありました。

他には、「楽しかった」、「柿の収穫が楽しかった」や初参加の小学生から「リーどぼらんていあキッズが、どんな活動を行ってきたかよくわかりました。活動を続けたい」と答えてくれた。初参加4名は、正式にキッズのメンバーになりました。

### ボランティア活動センターよりお知らせ

令和2年2月より町民会館改修工事に伴い、ボランティア活動センターは、山鹿公民館に移転します。工事期間は令和2年8月末までの予定です。

### ☆編集後記☆

今号はリーどぼらんていあキッズ朝倉研修特集号です。小学生から大学生まで、キッズの成長が見えるすてきな研修になりました。

キッズが収穫した柿、大きくて美味でした。この柿がこれからも食べられますように。 廣田

★各種教室 (見学できます。詳細はお問い合わせ下さい)

#### ■デジタル写真教室

・ADPC(火曜日 13:00)

#### ■福祉支援教室

・芦屋町手話の会 (月4回 水曜日 19:00)

・ハーティネットあいあい視覚障がい者支援 (月2回 木曜日 13:00)

#### ■英会話教室

・AEGC(木曜日 10:00)

#### ■手作り教室

・すみれ会〈洋裁教室〉 (月曜日 10:00)

・さくら会〈洋裁教室〉 (水曜日 10:00)

・でんでんむし〈布絵本教室〉 (木曜日 10:00)

